

除排雪作業時の怪我の予防、作業後の体調ケアのため、高齢者も短時間で効果的にできる準備体操やストレッチ、あるいは除排雪時期の準備としての体力増進体操など考案し、その他ルール等とともに周知を図ります。

【安全克雪事業例】

- ⑥ 除排雪作業の準備体操考案  
→ 除排雪作業時の怪我、筋肉痛等の予防、ケア
- ⑦ 除排雪作業に備えた体力増進活動



図. YouTube による雪かき前の準備体操啓発例  
(一般財団法人札幌市スポーツ協会)



図. YouTube による雪かき前の準備体操啓発例  
(みちのく仙台 ORI☆姫隊政策実行委員会)



図. YouTube による雪かき前の準備体操啓発例  
(北都保健福祉専門学校) [旭川市]



図. YouTube による雪かき前の準備体操啓発例  
(福住整形外科クリニック) [札幌市]

雪が積もる前にボランティア等を派遣する要援護者世帯等の住宅を現地調査し、アンカーの有無、雪止めに関する情報、屋根及び住宅周りの平面図などを記載した「除雪住宅カルテ」の作成を行い、ボランティア等の除排雪の安全確保を図ります。

【安全克雪事業例】

⑧除雪住宅カルテの作成

**長野県長野市**

|       |         |       |         |         |
|-------|---------|-------|---------|---------|
| 降雪状況  | 必ず大雪    | ほぼ大雪  | 元日に大雪   | 残りの大雪   |
| 降雪傾向  | 多量      | 量口    | 住宅周りに   | 屋根      |
| 降雪の対応 | 日常的に除排雪 |       | 日常的に除排雪 | 日常的に除排雪 |
| 担い手   | 地区住民    | 学生・企業 | 高齢地域    | 広域      |
| 活動内容  | 共助除雪    | 安全講習  | 会議・会合   | シンポジウム  |
|       | 除排雪指導   | 講習    | 人材確保    | 組織づくり   |

### 事例 6 除雪住宅カルテを製作し命綱アンカー設置の重要性を周知

**実施主体** 鬼無里地区住民自治協議会  
〔活動地域：長野県長野市鬼無里地区〕

**自治体** 長野県長野市 人口：1,393人（増減率：-18.1%）※1  
（鬼無里地区）世帯数：645世帯（増減率：-10.2%）※1  
高齢化率：56.7%（増減率：+5.4%）  
降雪量：756.6 cm（全県総量計）※2  
※1 平成27年総務省「国勢調査」  
※2 最高10観測所の472〜31平均値

**きっかけ**

- 鬼無里地区は、平成17年の長野市への合併以降、人口の流出が加速し、高齢化率は50%を超えるため、自力での除雪作業だけでなく、共助の作業も必要になってきた。作業中の事故も増加している。
- 平成28年から「雪かき指導」を開始し、地区外からの除雪ボランティアの育成や雪害救助員の安全対策に取り組んできた。
- 屋根雪の除雪作業の安全対策に取り組む中で、命綱をつなぐためのアンカーの設置が急務となっている。

**取組内容**

- 雪が積もる前に、雪害救助員を派遣する要援護者世帯等の住宅を現地調査し、アンカーの有無、雪止めに関する情報、屋根及び住宅周りの平面図などを記載した「除雪住宅カルテ」を作成した。
- 雪害救助員を対象に、安全帯と命綱の重要性を伝えるための除雪安全講習会（R2.10.25）を開催した。
- 命綱アンカーの取付金具を開発するとともに、作成した住宅カルテを参考に、命綱アンカーの優先順位を確認し、地区内の住宅1軒に設置した。

**主な成果**

- 27軒の除雪住宅カルテが完成したことで、雪害救助員による除雪作業の安全性が格段に高まり、アンカー設置に対する住民の理解が進んだ。
- 実際に、除雪作業が危険な状態になっていた住宅にアンカーを設置したことにより、雪下らし作業を安全に行えるようになった。また、そこで「命綱アンカー設置モデル住宅」になり、アンカーの設置を提案しやすくなった。
- 除雪安全講習会には戸隠地区の雪害救助員にも参加を呼びかけ、鬼無里地区の取組を他地域へ広げたい可能性が生まれた。

**ポイント**

- 雪害救助員が安心して雪下らし作業ができるよう、支援が必要な世帯の住宅の情報を共有する「除雪住宅カルテ」を作成。屋根の特徴、雪止めやバルコニーの位置、注意点が明確に記録されている。
- 命綱アンカーの取付金具を自ら開発し、これを設置した「命綱アンカー設置モデル住宅」を整備。これを拠点に周知・提案を図る。

**<運営体制>**

運営主体：鬼無里地区住民自治協議会  
担当：雪がけ推進実行委員会  
（ワーキング、講習会等の企画運営）

安全対策の具現化、普及啓発の計画立案、運営会議の開催

- 安全マニュアルの点検
- 安全講習会の開催（アンカー設置WS）
- 除雪住宅カルテの作成

【支援協力】  
長野市役所  
鬼無里支所  
市社会福祉協議会

除雪困難世帯  
鬼無里地区雪害救助員（除雪担い手）  
民生委員（要援護世帯の除雪依頼）

除雪困難世帯  
命綱アンカー設置WS  
命綱アンカー取付金具

除雪困難世帯  
命綱アンカー設置WS  
命綱アンカー取付金具

図、「安全安心な克雪体制づくり取組事例集」（国土交通省）における長野市の例

54

(5) 地域ぐるみで行う除排雪体制の整備 【方針1・4 関連】

既に本市で実施している「地域ぐるみ雪下ろし支援事業」において、雪下ろし経費の助成及び雪下ろし作業登録に係る準備費用の増額とあわせ、作業者の登録促進など、事業拡充とPR等による利用促進を図ります。

また、「公助」として複数個所を少人数の職員、区等で除雪できる体制の確保をはじめ、効率よく作業を実施するための除雪機等資機材の確保を図ります。

一方、若い世代や市外からも除排雪に参加してもらえるよう、競技イベント要素を取り入れた協働体制の構築や、地元中学校や高等学校との協力・連携による新たな担い手の確保に努めます。

さらに、勝山市社会福祉協議会と連携しながら、地区単位での要援護世帯への除排雪や生活支援等の体制づくりに努めます。

【安全克雪事業例】

- ①「地域ぐるみ雪下ろし支援事業」の拡充と利用促進
- ②効率的な除排雪作業実施のための資機材の導入
- ③「スポーツ雪かき」等競技イベント要素取り入れた協働体制の構築
- ④地区単位による要援護世帯への支援（除排雪、生活支援等）



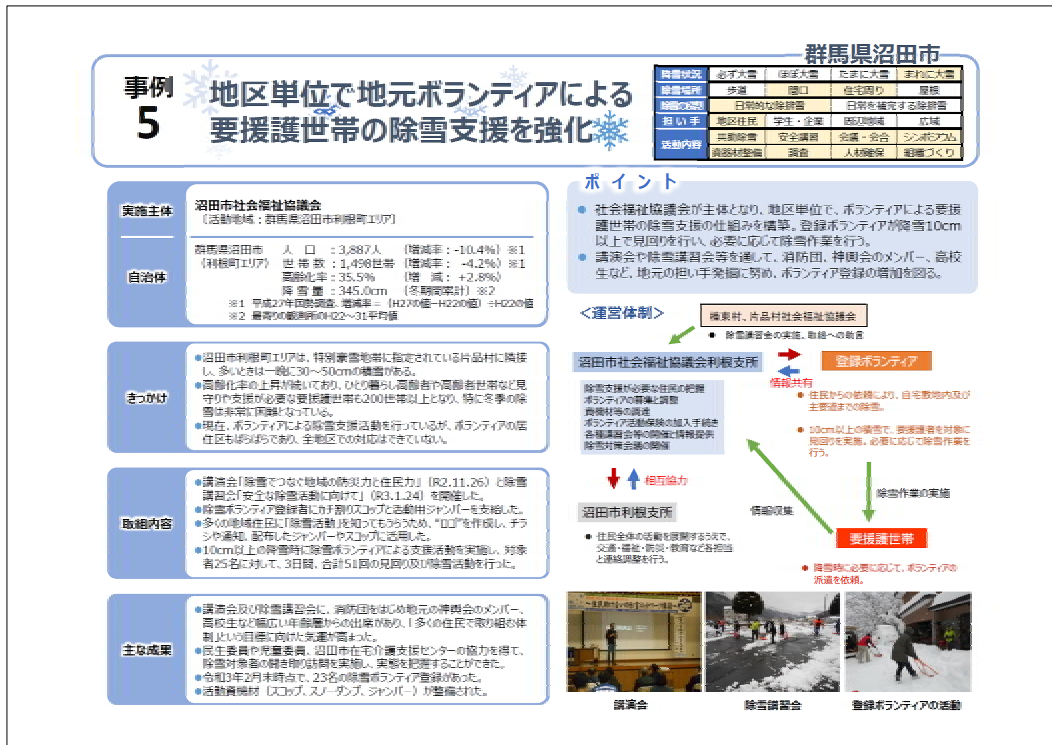
図. 国際スポーツ雪かき選手権 in 小樽 2023 (国際スポーツ雪かき選手権実行委員会)



図. 第6回国際スポーツ雪かき選手権でのボランティア雪かきの様子 (一般社団法人日本スポーツ雪かき連盟)



図. 第8回国際スポーツ雪かき選手権 (リモート開催の様子) (一般社団法人日本スポーツ雪かき連盟)



図、「安全安心な克雪体制づくり取組事例集」(国土交通省)における群馬県沼田市の例

(6) 雪下ろし人材の確保・育成 【方針4 関連】

市全体の少子高齢化が進む中、また、除排雪には相当の体力が必要となることから、若い人材の協力によるボランティアの育成をはじめ、地域外ボランティアの確保により、高齢者の多い地区の重点的・効率的な除排雪の実現を目指します。

また、そのような人材を確保していくため、ボランティア参加者に対し地域通貨的なポイントを付与し、参加する楽しみ、メリットを感じてもらえるような仕組み作りを検討します。

【安全克雪事業例】

- ①若い人材の協力によるボランティアの育成
- ②地域外ボランティアの確保
- ③「勝山雪かき雪下ろしポイント」付与による人材確保

→ボランティアへの対価としてのポイント付与

→勝山市内限定で利用できる地域通貨の活用

(例) 勝山市のキャラクター「チャマゴン」の名前を使用した地域共通単価「チャマネー」を作成し、通貨単位「チャマ」として利用

## 事例 5 既存の支援体制を強化するため除雪ボランティア活動を企画

### 山形県上山市

|       |         |         |         |         |
|-------|---------|---------|---------|---------|
| 降雪状況  | 必ず大雪    | ほぼ大雪    | たまに大雪   | まれに大雪   |
| 除雪準備  | 歩道      | 横口      | 住宅周り    | 農圃      |
| 除雪の頻度 | 日常的な除排雪 | 日常的な除排雪 | 日常的な除排雪 | 日常的な除排雪 |
| 担い手   | 地区住民    | 学生・企業   | 周辺地域    | 広域      |
| 活動内容  | 共同除雪    | 安全講習    | 会議・会合   | シンポジウム  |
|       | 資器材整備   | 調査      | 人材確保    | 組織づくり   |

### 実施主体

**上山市社会福祉協議会**  
〔活動地域：山形県上山市〕

### 自治体

山形県上山市 人口：31,569人（増減率：-6.7%）※1  
世帯数：10,694世帯（増減率：-0.5%）※1  
高齢化率：35.3%（増減：+4.0%）※1  
降雪量：308.6cm（冬期間累計）※2  
※1 平成27年国勢調査、増減率＝（H27の値－H22の値）÷H22の値  
※2 最寄りの観測所のH21～30年平均値

### きっかけ

- 市では、地区会や近隣者、福祉協力員等が中心となって、手助けが必要な世帯に対して住宅周辺の除雪作業を行ってきた。
- 少子高齢化により地域での支え合いや助け合いの機能が脆弱になり、既存の支援体制では除雪に対応できなくなっている。
- 平成30年度は、関係機関・団体、市内中学校、高等学校等へ共助による除雪の必要性を説明し、社協広報誌、ホームページ等で除雪ボランティアを募集・確保して、半日の一斉除雪活動を実施した。

### 取組内容

- 地区会長・民生児童委員に対して、除雪体制のための希望を聞き取るアンケート調査を実施した。
- 各関係機関・団体・学校等への説明、チラシを随所配付、上山市ボランティアフェスタにおいてのアース設置等により、除雪ボランティアを募集した。
- 申請のあった地区会長・民生児童委員と一緒に支援対象者宅を訪ね、除雪場所の状況や併置場所の確認を行い、個人台帳を作成した。
- 除雪ボランティア活動（1日）を予定していたが大雪で中止となった。

### 主な成果

- 社協のみが主体的に活動するのではなく、地区会と一体となり対象者宅を訪ねたことで、66世帯の対象者の実態及び支援体制の現状を把握することができた。
- 幅広くボランティアを募集することで、地区民や高校生ボランティアが増加し、新たに企業からの協力も得て、除雪ボランティア173人から応募があり、体制を整備することができた。
- 除雪道具が整備され、除雪ボランティア活動を行う基盤が整った。

### ポイント

- 増加する除雪ニーズへの対応と人材確保を目的に、地区内の除雪体制の実態を把握し、市内中学校・高校等の協力も得て、新たな担い手となる除雪ボランティアの確保に取り組む。
- 地区会（会長・民生児童委員）と一緒に支援対象者宅の実態調査を行い、安全かつ効率的に除雪作業を行うための現場確認を行う。

### ＜運営体制＞

地域福祉相談会
対象者宅の実態調査

図、「安全安心な克雪体制づくり取組事例集」（国土交通省）における山形県上山市の例

## 事例 2 学生をはじめとした除雪ボランティアの育成～活動地域の拡大に向けて～

### 青森県青森市

|       |         |         |         |         |
|-------|---------|---------|---------|---------|
| 降雪状況  | 必ず大雪    | ほぼ大雪    | たまに大雪   | まれに大雪   |
| 除雪準備  | 歩道      | 横口      | 住宅周り    | 農圃      |
| 除雪の頻度 | 日常的な除排雪 | 日常的な除排雪 | 日常的な除排雪 | 日常的な除排雪 |
| 担い手   | 地区住民    | 学生・企業   | 周辺地域    | 広域      |
| 活動内容  | 共同除雪    | 安全講習    | 会議・会合   | シンポジウム  |
|       | 資器材整備   | 調査      | 人材確保    | 組織づくり   |

### 実施主体

**青森県青森市**  
〔活動地域：青森県青森市〕

### 自治体

青森県青森市 人口：275,340人（増減率：-4.3%）※1  
世帯数：118,293世帯（増減率：±0%）※1  
高齢化率：35.8%（増減：+8.3%）※1  
降雪量：476cm（冬期間累計）※2  
※1 令和2年国勢調査、増減率＝（R2の値－H27の値）  
※2 最寄りの観測所の1991～2020年の平均値

### きっかけ

- 歩道を含めた市道の除排雪を行っているが、除排雪延長が長く、狭い生活道路などにおいては、歩道の通行が困難となり歩行者が車道を通行せざるを得ない場合がある。また、全国平均を上回るペースで人口減少及び高齢化が進展しており、地域住民だけで活動を継続することが困難になってきている。
- 地域における持続可能な除排雪体制を維持するために、地域内外から幅広く除雪ボランティアを受け入れる必要があり、地域住民の除排雪と除雪ボランティアの活動要望を吸い上げ、調整する役割が必要となってくる。

### 取組内容

- 除雪ボランティアと地域団体を結びつける人材を育成するため、「除雪ボランティアリーダー育成研修」を実施する。
- 広域での除雪ボランティア活動の展開を目指し、活動地域の横展開を図るため、活動を希望する除雪ボランティアと受け入れを希望する地域団体のマッチングを行う。
- 県外からの除雪ボランティア受け入れの仕組みを構築するため、県外からの除雪ボランティアの受入を試行的に実施する。

### 主な成果

- 除雪ボランティアと地域団体を結びつける人材として、地区町会会長を除雪ボランティアリーダーとして育成した。
- 地元高校の運動部と連携した活動体制を構築し、除雪ボランティア活動を展開した。
- 県外からの除雪ボランティアの受入を実施し、リモートワーク下における除雪ボランティアの受入を実施した。

### 他団体・他地域で参考になりそうなポイント

- 地域団体（町内会）が核となって、学生等の若い力を取り入れながら、企業・団体と連携する除雪ボランティアの実施体制。

### 活動のポイント

- 冬期における歩行者空間の確保等の雪処理において、地域団体が核となり、学校、企業・団体（地元・県外）などが連携する除雪ボランティアの実施体制が、市全域で構築されることを目指す。
- 市内高校の運動部と連携した除雪ボランティア実施事例を蓄積。

### 運営体制

| 名称                     | 役割                                       |
|------------------------|--|
| 地元町内会等                 | 各団体との意見調整、活動計画策定、組織運営                    |
| 協賛法人・団体                | 除雪ボランティアの募集、除雪用具の提供                      |
| 大学                     | 大学内における学生ボランティアの募集                       |
| 青森県                    | 歩道除雪作業に併せた道路除雪の実施                        |
| 青森市・青森市ボランティアセンター（市社協） | 歩道除雪作業に併せた道路除雪の実施、除雪用具の貸出、除雪ボランティアの募集・育成 |

### 除雪ボランティア実施体制イメージ

地域団体と地元高校生たちによる除雪ボランティア活動
活動時に着用するビブス

図、「安全安心な克雪体制づくり取組事例集」（国土交通省）における青森市の例